

国内・海外

○印：国内関係 ☆印：海外関係

3日(月)○ 内部留保446兆円、6年連続最高

財務省が2017年度の法人企業統計を発表。企業の「内部留保」に当たる利益剰余金が、金融・保険業を除く全産業で前年度比9.9%増の446兆4,844億円だった。6年連続で過去最高。

10日(月)○ GDP年3.0%増に上方修正、設備投資好調

内閣府が18年4～6月期の国内総生産（GDP、季節調整済）改定値を発表。実質で前期比0.7%増、年率換算で3.0%増と、速報値（前期比0.5%増、年率1.9%増）から大幅上方修正。

13日(木)○ 7月の機械受注11.0%増、3カ月振りのプラス

内閣府が7月の機械受注統計（季節調整済）を発表。民間の先行指標となる「船舶・電力を除く民需」の受注額が6月比11.0%増の9,186億円と、3カ月振りのプラスとなった。

18日(火)○ 基準地価、全国平均27年振り上昇

国土交通省が7月1日時点の基準地価を発表。全用途の全国平均が前年比0.1%上昇した。前年は0.3%の下落だったが、1991年以来27年振りに上昇に転じた。

26日(水)☆ 米FRB、0.25%利上げ

米国の中央銀行に当たる連邦準備制度理事会（FRB）は、連邦公開市場委員会（FOMC）で政策金利を0.25%引き上げ、年2.0～2.25%とすることを決定。利上げは6月以来で今年3回目。

県内・九州

★印：県内関係 ●印：九州関係

6日(木)● 九州入国者、上半期初の250万人超え

九州運輸局が発表した18年1～6月の九州7県への外国人入国者数は、前年同期比9.9%増の254万3,247人だった。上半期としては、初の250万人超え。

6日(木)● 百貨店・スーパー販売額、2カ月振り減少

九州経済産業局が7月の九州・沖縄の百貨店・スーパー販売額（速報値）を発表。全店ベースで前年同月比2.1%減の1,371億円と、2カ月振りに減少した。

12日(水)● 九州鉱工業指数、3カ月振り上昇

九州経済産業局が発表した7月の九州の鉱工業生産指数（2010年＝100、季節調整済、速報）は、6月比0.1%上昇の106.2と、3カ月振りに上昇した。

26日(水)★ 7、8月の潜伏キリシタン関連遺産来場者、12万人

県は定例県議会総務委員会で、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺跡」の県内構成資産に、7、8月の2カ月間で前年同期を約3万5千人上回る12万2千人が来場したと明らかにした。

28日(金)★ 長崎県の有効求人倍率、1.25倍

長崎労働局が発表した8月の県内有効求人倍率（季節調整済）は、7月比0.03%低下の1.25倍だった。4カ月連続で1.2倍台、30カ月連続で1.1倍以上（過去最高）、35カ月連続で1.0倍以上。